

三陸地方のコゾウナカセ、ムコナカセ

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2022-02-28 キーワード: 作成者: 細井, 幸兵衛 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00065339

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



で富来海岸の記録がある。

(附記) 第1巻第2号で当地のコモチシダ群落では無性芽が認められないと記しましたが昨年多数生じているのを認めることができました。

細井幸兵衛※ 三陸地方のコゾウナカセ、ムコナカセ

倉田氏は本誌の第2巻第2号でコゾウナカセの方言の植物について報告されたので、常日頃私の気付いている当地方の同類の方言について参考迄述べてみることにした。

オホニハホコリやニハホコリを陸奥の津軽地方では、コゾウナカセともモコナカセとも呼んでいる。モコナカセは智泣せの訛つたものであり「三陸植物誌」に依れば「取り尽サレヌ程多ク発生スルニ依リこぞうなかせノ名アリ」と説明がある。

「三陸植物誌」をみれば、三陸地方にムコナカセの方言が割合多いことがわかる。

ボタンヅル、コバノボタンヅルに対し、陸中下閉伊郡でムコナカセと呼び、その理由に、「畑、垣根ニ繁茂シテ如何程刈取ルモ発生旺盛ナルヲ以テ」と、又、ヌスピトハギやヤブハギをも陸中、上閉伊郡ではムコナカセと呼んでいるが、これは衣服に附着する種子からそう呼んだものであろう。オホアキギリを陸奥、南津軽郡下でムコナカセ或はモコナカセと呼んでいる。これは私が現地で聞いた処に依れば、その嫩茎葉を食用とするのに、沢山採集しても煮揚げれば、その量がわずかに減つて了うからだとの事、猶又、センボンヤリを陸前、加美郡、黒川郡でモコナカセ、アキノキリンサウを陸中、胆沢郡でモコナカセと云うのは多分、オホアキギリの例の如く食用とする幼苗からの名と思う。

又、チカラシバを陸奥、上北、下北、三戸の郡下ではムコナカセと呼んでいる。これには「畑地ニ生ジ根ガ大夫ナル故引抜クニ力ヲ要スルヲ以テ云々」とある。

斯様に当地方にも同じ方言であつても地方に依り全く違つた意味で全く別の植物を指す場合がある。

倉田氏の報告を読んでその分布の割合広いのに興味を感じ筆をとつた次第である。

齊藤芳夫※※ 赤根川上流に於ける羊歯相

Y. Saito : On the Fern Flora of the Akane River Area

先に大野高校の蟹本信雄氏の「越前山岳地帯の羊歯相」が発表されたが (Vol. II, No. 2) その一部分である小生の住む九頭龍川支流の赤根川附近の羊歯相について述べる。

これは小生、会社に勤務するかたわら羊歯採集に興味を持ち趣味として又健康の為に行

※ 青森営林局林業試験場青森支場

※※ 福井県大野町福井銀行大野支店勤務